

ダイワコーポ／ワイライツ

フードロス削減プロジェクト開始

東京の倉庫から沖縄に菓子を無償提供

ダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）とワイライツ（本社・東京都港区、村上竜一代表取締役）は、返品された菓子商品で賞味期限まで十分に日数があるものを沖縄県南風原町の子ども食堂やひとり親家庭などへ無償提供するプロジェクトを開始した。5日に1回目の提供を実施し、15日には2回目の発送を行った。

同プロジェクトは昨年11月に発足。フードロス削減と子育て支援の貢献を目標に、学童クラブへ提供する菓子が当日キャンセルなどで倉庫へ返品されたフードロス食材のうち、賞味期限まで十分に日数のある菓子食品を、沖縄県の南風原町役場（子ども課）と社会福祉法人南風原町社会福祉協議会を通じて、困窮世帯や子ども食堂などへ無償提供する。

ダイワコーポは2014年に沖縄県の公募事業である物流高度化推進事業に参画して以来、高校生採用などで沖縄県との関係が続いており、23年冬頃の竣

各提供先へ交互に発送を行うため、子ども課と南風原町社会福祉協議会へは4週間に1回菓子が届くスケジュールとなる。

同プロジェクトはフードロス削減が大前提だが、子どもと子育て世帯への支援・取り組みを強化している南風原町へ菓子の無償提供を行うことで、さらなる子ども居場所づくりやひとり親家庭へのサポートといった地域社会貢献につながる。

また、副次的効果として返品された菓子商品の廃棄には廃棄費用がかかっていたが、沖縄県への配送料と比較し、費用を抑制。ダイワコーポも廃棄量の削減だけでなく、倉庫内の在庫管理を適切に行うことができるため、顧客に貢献できるほか、倉庫建築を進めている南風原町との関係強化にもつながる。■



発送作業の様子